

経営比較分析表（令和5年度決算）

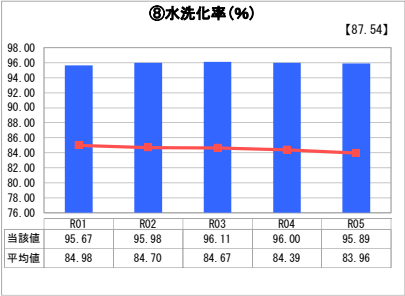
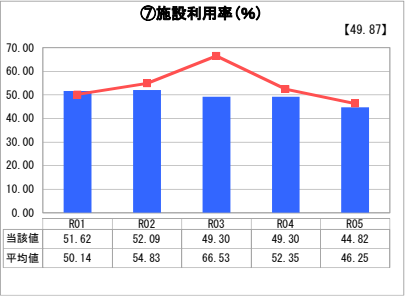
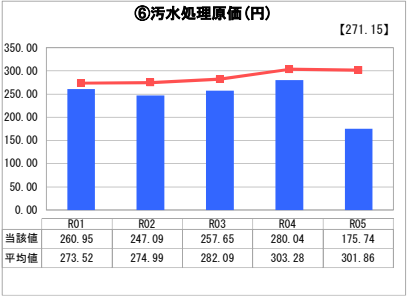
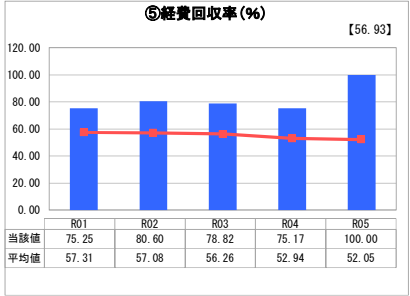
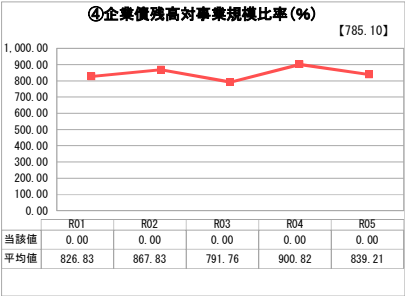
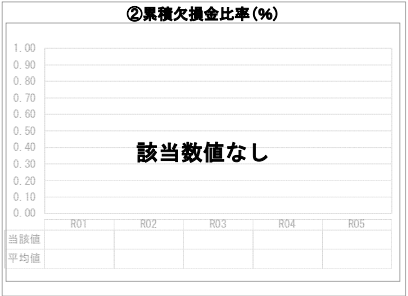
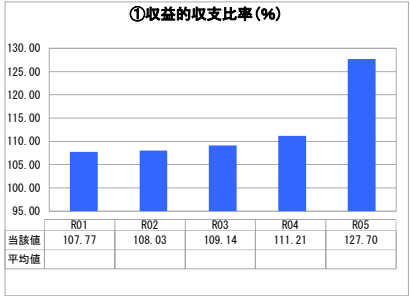
和歌山県 橋本市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	1.93	109.74	4,176

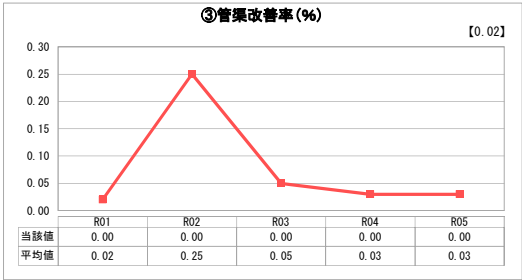
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
59,475	130.55	455.57
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,143	0.59	1,937.29

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は前年度を上回りましたが、これは費用を抑制したことによるもので、汚水処理に要する経費を使用料収入で賄うことができず、多額の一般会計繰入金に依存している状況です。今後も人口減少により使用料収入の増加は見込めず、厳しい経営状況が続くと予想されます。

⑤経費回収率は汚水処理原価が打ち切り決算に伴い減少したことにより、比率が増加しております。

⑥汚水処理原価は汚水処理費が打ち切り決算に伴い減少したことにより、比率が減少しております。

⑦施設利用率はほぼ横ばいの状況であるものの、人口減少に伴いこちらも減少すると予想されることから、今後は有収水量の確保及び施設の適正化が必要となります。

⑧水洗化率は高い水準で推移しておりますが、人口減少に伴い、微減となっております。

2. 老朽化の状況について

本事業は、平成6年度に事業着手し、平成10年度から一部供用を開始し、平成15年度に全区域の供用を開始しました。管渠や処理場は比較的新しく不具合が生じていませんが、ポンプ施設や処理場内の機械器具のように耐用年数の短いものは、不具合が生じる度に修繕を行うことで凌いでいる状態です。今後は、接続可能な区域は公共下水道への接続を進めるとともに、施設更新計画を策定し、計画的な更新事業を進めていきます。

全体総括

本事業は、令和6年度に法適用化し、接続可能な区域については公共下水道へ接続を行います。それ以外の区域については、計画的に更新事業を進めていきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。